

## バベル (2006)

BABEL

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 143分

初公開日 2007/04/28

公開情報 ギャガ・コミュニケーションズ

映倫 PG-12

## 【キャッチコピー】

神は、人を、分けた。

## 【解説】

「アモーレス・ペロス」「21グラム」の俊英アレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトゥ監督が、旧約聖書の“バベルの塔”をモチーフに描き出す衝撃のヒューマン・ドラマ。モロッコ、アメリカ、メキシコ、日本、それぞれの場所で孤独な魂どうしが織りなす愛と哀しみ、再生への希望の物語が同時並行で鮮やかに綴られていく。日本から役所広司とともに参加した菊地凛子が各国の映画賞レースを賑わせ日本でも大きな話題となる。

モロッコ。山羊飼いのアブドゥラは知り合いから一挺のライフルを買い、それを山羊に近づくジャッカルを追い払うためとして息子の兄弟アフメッドとユセフに与えた。すると、兄弟は遠くの標的めがけて遊び半分で射撃の腕を競い合い、ユセフが険しい山間部を走ってくる一台のバスに引き金を引く。そのバスには、一組のアメリカ人夫妻リチャードとスーザンが乗り合わせていた。彼らは、生まれて間もない3人目の子供を亡くしたことがきっかけで壊れかけた絆を取り戻そうと、2人だけで旅行にやってきた。ところが、どこからか放たれた銃弾が運悪くスーザンの肩を直撃。リチャードは血まみれの妻を抱え、医者のある村へと急ぐ。一方、夫妻がアメリカに残してきた幼い子供たちマイクとデビーの面倒をみるメキシコ人の乳母アメリア。息子の結婚式に出るため帰郷する予定が、夫妻が戻らず途方に暮れる。やがて彼女は仕方なく、マイクとデビーも一緒に連れてメキシコへと向かうのだった。日本。妻が自殺して以来、父娘関係が冷えきっている東京の会社員ヤスジローと女子高生になる聾啞の娘チエコ。またチエコは満たされない日々孤独と絶望を募らせていた。そんな中、モロッコの事件で使用されたライフルの所有者として、ヤスジローの名前が浮かび上がる…。

## 【クレジット】

監督	アレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトゥ	Alejandro Gonzalez Inarritu	
製作	スティーヴ・ゴリン	Steve Golin	
	ジョン・キリク	Jon Kilik	
	アレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトゥ	Alejandro Gonzalez Inarritu	
脚本	ギジェルモ・アリアガ	Guillermo Arriaga	
撮影	ロドリゴ・プリエト	Rodrigo Prieto	
編集	ダグラス・クライズ	Douglas Crise	
	スティーヴン・ミリオン	Stephen Mirrione	
音楽	グスターボ・サンタオラヤ	Gustavo Santaolalla	
出演	ブラッド・ピット	Brad Pitt	リチャード
	ケイト・ブランシェット	Cate Blanchett	スーザン
	ガエル・ガルシア・ベルナル	Gael Garcia Bernal	サンチャゴ

役所広司	Koji Yakusho	ヤスジロー
菊地凛子	Rinko Kikuchi	チエコ
二階堂智		ケンジ
アドリアナ・バラサ	Adriana Barraza	アメリカ
エル・ファニング	Elle Fanning	デビー
ネイサン・ギャンブル	Nathan Gamble	マイク
ブブケ・アイト・エル・カイド	Boubker Ait El Caid	ユセフ
サイド・タルカーニ	Said Tarchani	アフメッド
ムスタファ・ラシディ	Mustapha Rachidi	アブドゥラ
アブデルカデル・バラ	Abdelkader Bara	ハッサン
小木茂光		
マイケル・ペーニャ	Michael Pena	
クリフトン・コリンズ・J r	Clifton Collins Jr.	
村田裕子		ミツ
末松暢茂		